

〔物類稱呼〕動物牛うし 特牛を、畿内及び中國西國ともにこつといと云、東國にはこてといふ、遠

江國にてはあこと云、犢を四國にてべの子といふ、中國東國ともにべこといふ、又こつていと

いひ、こてといふは、和名ことひの誤なり、又牝牛は諸國ともにあめうじと呼なり、  
〔下學集〕上氣形桃林ト牛異名也、尙書ク栗リツ小牛異名也、言フ黑牡ト丹ト牛異名也、唐人劉訓京師春遊觀牡丹、訓

丹也、牡  
〔璫囊抄〕七牛ヲ桃林ト云ハ何事ゾ

桃林ハ只牛ノ異名也、尙書ニ云、放牛於桃林野ト、仍テ云爾也、中牛ニモ又異名多侍リ、山中書生ナンド共云、璫栗共云、黑牡丹共云、黑牡丹ト云事ハ、唐劉訓京師ヲ遊覽スルニ、見牡丹、仍テ後劉訓迎客此花ヲ賞スル、乃繫水牛在前、故ニ指之劉訓ガ黑牡丹也ト云ヘリ、爰ヲ以テ云爾云云、

〔尙書〕周書武成

爾四月哉生明、王來自商、至于豐、乃偃武、修文、歸馬于華山之陽、放牛于桃林之野、示天下弗服、

〔漢書〕二郊五祀天地牲角、藟栗師古曰、牛角之形、或如藟、或如栗、言其小、

〔本草綱目〕譯義牛五ウシ コトイ コトイノウシ古歌 コフトイ雄 コツテイ同 コテ

東國 アコ遠州略 本條一名 黃毛菩薩甘朱 格餌同 不花甘朱 書生同 文武異名 特

氏同 古旃同 桃林隱士同 兀哥皂兒同蒙古名 桃林處士法言 斑特處士異名 八百里異

各 肉ヲ 特味異名 牢味同 干肉ヲ 物腴同 特脩同

〔後深心院關白記〕延文三年九月十日丙午、桃林一頭引遣一品許、連々所望之故也、

〔類聚名義抄〕牛倍短項牛、ヲウシ、 特ハ、ウシ、

〔日本靈異記〕上僧用涌湯之分薪而與他牛役之、示奇表、緣第二十

尺惠勝者、延興寺之沙門也、略 其寺有一特、而生犢子、